

第 2 期西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略
(計画期間 令和 3 年度～令和 7 年度)

総合戦略に基づく施策の
令和 3 年度取組状況等について

1. 西尾市の人口動態

1. 推計人口

令和3年10月1日現在の西尾市の人口は168,591人で、1年前と比べて455人減少した。

	H22年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	前年比
総人口	165,298	167,990	168,743	169,352	169,592	169,984	169,046	168,591	▲455
0～14歳	24,617	24,236	24,188	24,222	23,881	23,559	23,652	23,416	▲236
15～64歳	105,941	103,106	102,913	102,796	102,616	101,659	101,835	101,266	▲569
65歳以上	34,561	40,211	41,205	41,920	43,050	43,463	43,050	43,832	782
100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	77	—
不詳	179	437	437	414	437	437	437	—	—

出典：H22年とH27年は国勢調査(確定値)。H28年以降はH27年国勢調査確定値を基準値とする推計人口(愛知県人口動向調査)
※R3年については、不詳を補完した値となっています。

2. 自然動態

令和3年の自然動態は、出生児数が1,223人、死亡者数が1,750人となり、527人の減少となった。

出生数は、前年より29人減少し、死亡数は116人増加した。

		H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	前年比
自然動態	出生	1,423	1,470	1,412	1,341	1,328	1,252	1,223	▲29
	死亡	1,621	1,555	1,743	1,658	1,668	1,634	1,750	116
	自然増減 …①	▲198	▲85	▲331	▲317	▲340	▲382	▲527	▲145

出典：愛知県人口動向調査(愛知県統計課)。

3. 社会動態

令和3年の社会動態は、転入者数が5,962人、転出者数が5,905人などとなり、556人の増加となった。

令和3年の転入者数は、前年より167人増加した。

令和3年の転出者数は、前年より357人減少した。

		H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	前年比
社会動態	転入	5,970	6,619	6,842	7,352	8,025	5,795	5,962	167
	転出	5,556	5,907	6,031	6,729	7,253	6,262	5,905	▲357
	その他増減	306	126	129	▲66	▲40	▲17	15	32
	社会増減 …②	720	838	940	557	732	▲484	72	556

出典：愛知県人口動向調査(愛知県統計課)

自然増減①と社会増減②でみる令和3年の人口増減は455人の減少となった。

	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	前年比
人口増減…①+②	522	753	609	240	392	▲866	▲455	411

2. 施策の取組状況

【基本目標1】『まち』

地域の魅力を磨き、快適な暮らしができ、にぎわいのあるまちを形成する

多様な交流が生まれるにぎわいに満ち、まちに誇りや愛着を感じながらいつまでも安心して暮らせるまちをつくります。

<主な事業の令和3年度取組状況及び今後の展望等>

【にしおマラソン】令和4年3月6日(日)に「にしおマラソン2022」を開催した。

全国39都道府県から4,646名の申し込みがあり、コース上では「抹茶・うなぎ・えびせんべい」を提供し、特産品のPRを行った。

今後は、健康づくりのため市民優先枠を確保しながら、募集定員の増加や特産品PRを増やすことで、地域経済活性化等に取り組む。

【ホームタウンパートナー協定】エアリービーズをPRするためのうちわを作成し配布した。併せて、市役所北側駐車場にPRフラッグを、総合体育館メインアリーナに応援横断幕を、同体育館の周辺にはのぼり旗を設置した。新型コロナウイルス感染症の拡大により、エアリービーズの選手と市民との交流は思うようにできていないが、今後も市をあげてエアリービーズを応援していくことは変わらず、協定締結時の約束どおり、「明るく、元気なふるさと西尾市」実現に向けて相互で協力していく。

【にしお健康ツーリズム】にしお健康ツーリズムのプログラム作成とモニターを実施した。モニターによって得られたアンケート等をもとに、プログラムの精査を行い、令和4年度以降のプログラムの一般販売を目指す。

【ふるさと応援寄附金制度】西尾市へ5千円以上寄附された市外の方へ一色産うなぎ、西尾の抹茶、えびせんべい等を始めとする返礼品を贈呈し、特産品のPRを図った。

また、従来から行っているポータルサイトへの広告掲載に加え、返礼品のブラッシュアップ業務や楽天ポータルサイトの運營業務の外部委託の成果により、大幅な寄附額の増加となった。

今後も新たな返礼品の開拓、メルマガ配信や新たなポータルサイトの導入など、寄附額の増額に繋がる取組を検討していく。

【名鉄西尾・蒲郡線対策事業】名鉄西尾・蒲郡線の運行存続のために、蒲郡市と共に名古屋鉄道株式会社に対し、運行に関する支援金を支払った。また、名鉄西尾・蒲郡線において、小学生以下の子どもとその保護者及び10名以上の団体利用者に対する運賃補助を行った。加えて、ウォーキング等の利用促進事業を西尾市名鉄西尾・蒲郡線応援団に委託し実施した。

【津波避難施設整備事業】一色町生田地区及び吉良町大島地区の2箇所に津波避難タワーの整備が完了した。令和4年度は一色町千間地区及び吉良町吉田地区の2箇所に整備を進め、令和8年度末までに市内に計10基の津波避難タワーを整備していく。

【行政手続きのスマート化事業】令和4年3月に電子申請・届出システムとLINEを連携させ、アカウント登録不要で申請可能な環境を構築した。令和4年9月からは、申請、本人確認、決済、証明書の郵送受け取りまでが全てオンラインで完結するスマート申請の開始を予定している。

政策目標指標

各年3月31日時点

指標	基準値	目標値	実績値
	R1	R7	R3
交流人口 (観光入込客数)	352万人 (R1)	450万人 (R5)	264万人 (R3)

KPI (重要業績評価指標)

各年3月31日時点

指標	基準値	目標値	実績値
	R1	R7	R3
佐久島交流人口	106,000人 (R1)	120,000人 (R7)	81,777人
成人の週1回以上のスポーツ実施の割合	46.7% (R2)	50% (R6)	本年度実施の世論調査の結果が出ていないため計測不可能
にしおマラソン参加者	4,259人 (R1)(※)	7,000人 (R7)	4,190人(R3) オンラインイベントエントリー者含む
国内トップレベルの大会開催数	2大会 (R1)	4大会 (R7)	3大会 (R3)
観光用Wi-Fiアクセスポイント数	56か所 (R1)	70か所 (R7)	48か所 (R3)
外国人宿泊者数 (吉良温泉)	18,428人 (R1)	20,000人 (R7)	219人 (R3)
ワーケーションプラン利用人数	0人/年 (R3)	10人/年 (R7)	1人×2日 2人

(※) 令和元年度の一色マラソン参加者数

指標	基準値	目標値	実績値
	R1	R7	R3
観光協会ホームページアクセス数	592,732 件 (R1)	800,000 件 (R7)	632,030 件 (R3)
名鉄西尾・蒲郡線年間利用者数	3,324,568 人 (R1)	3,494,000 人 (R7)	2,787,326 人
コミュニティバス年間利用者数	119,198 人 (R1)	180,000 人 (R7)	186,111 人 (内いっちゃん 2,745 人)
いこまいか一年間利用者数	2,254 人 (R1)	2,300 人 (R7)	5,613 人
ふれんどバス年間利用者数	304,975 人 (H30.10～R1.9)	305,000 人 (R6.10～R7.9)	247,915 人
名鉄東部交通バス年間利用者数 (※)	367,759 人 (H30.10～R1.9)	368,000 人 (R6.10～R7.9)	320,860 人
佐久島渡船年間利用者数	251,000 人 (R1)	260,000 人 (R7)	203,886 人

(※) R2.4 の一部廃止路線除く

【基本目標2】『ひと』

次代を担う子どもの育成と、多様な人材の活躍を推進する

若い世代が結婚や出産に希望をもち、子育てを楽しめるまちをつくとともに、多様な人材が活躍できるまちをつくりまします。

<主な事業の令和3年度取組状況及び今後の展望等>

【結婚新生活支援事業】 新婚生活への支援及び市内への移住・定住を促すため、新婚世帯の新築住宅取得費用を最大30万円まで補助する制度を、令和3年4月1日から施行した。令和3年度については、対象要件に該当する世帯がなく実績がなかったことから、令和3年度の取組として要件の見直しを行い令和4年4月1日から改めて施行した。

見直しの結果、令和4年度は交付実績があり、問合せも増えてきたことから、見直しに一定の成果があったものと判断し、今後しばらくは現在の要件のまま運用していく。

【出産祝い金支援事業】 次世代を担う子どもの誕生を祝福し、人口増加及び子育て支援の推進を図るため、すこやか祝い金を支給した。

【子育て世代包括支援センター事業】 妊娠期から就学前までの子どもとその保護者に対して、さまざまな相談に切れ目なく対応した。また、関係機関との連絡会議を定期的に行い、情報共有を図りきめ細かい支援を実施した。

【子ども医療費支給事業】 中学3年生までの子どもの保険診療による医療費の自己負担分を支給した。入院医療費について、対象を令和4年4月診療分より18歳年度末までの高校世代まで拡大する。

【給付型奨学金支給事業】 能力があるにも関わらず、経済的な理由により修学が困難な高校生に対し、奨学金を支給した。

【保育士等確保に向けた取組の推進】 就職準備金貸付事業を新設し、新卒の保育士の採用に繋げた。（公立園の正規職員は対象外。）

今後も引き続き就職準備金貸付事業を実施していく。

【学校におけるICT環境の整備と活用】 ICT環境の活用における学校での状況報告を受けるとともに、それに伴う改善点・問題点の確認を行い、必要となる整備を実施した。

【子ども食堂運営費補助】 子ども食堂を運営する団体を支援するため、運営費補助金を交付した。

【寺子屋にしお推進事業】 小学1年生から3年生までの児童を対象として、ふれあいセンター、寺院などの施設を利用し26小学校区中、13小学校区（11教室）で実施した。

今後もふれあいセンター、寺院等の地域の施設を活用し、子どもたちの安心・安全な居場所を設け、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する。

【家庭児童相談】家庭児童相談員を配置し、子どもの性格、家族関係、学校生活等、主に学校に通っている子どもの心配ごと等の相談を行った。今後も引き続き、家庭との連携を図り問題解決に向けた支援につなげていく。

【生涯学習拠点施設整備事業】中央ふれあいセンターとアクティ西尾を統合し、生涯学習センター（仮称）の建設を計画した。

今後は生涯学習活動拠点が不足する地区において、地域住民の生涯学習活動、多世代交流、地域文化推進のため、拠点施設を整備する。

政策目標指標

各年1月1日～12月31日

指標	基準値	目標値	実績値
	R1	R7	R3
年間出生数 【住民基本台帳 登録】(※)	1,367人 (H30)	1,400人 (R7)	1,218人 (R3)

(※) 外国人の出生を含む

KPI（重要業績評価指標）

各年3月31日時点

指標	基準値	目標値	実績値
	R1	R7	R3
合計特殊出生率	1.54 (H26～H30 平均値)	1.58 (R7)	1.43 (R2)
出産祝い金の受給者数	1,286人 (R1)	1,400人 (R7)	1,216人
放課後児童クラブの待機児童数	32人 (R1)	0人 (R7)	0人
図書館貸出カードの登録率(18歳以下の子ども)	40% (R1)	60% (R7)	54.2% (R3) (人口はR4.4.1現在)
参加人数(マルチ・カルチャー・キャンプ in 佐久島)	0人 (R2)	50人 (R7)	0人
寺子屋にしお開設数	12教室 (R1)	13教室 (R7)	11教室

【基本目標3】『しごと』

地域の特色を生かした稼ぐ地域の形成と安心して働ける場を維持・拡大する

市内に十分な雇用の場があり誰もがいきがいを感じて働くことができるまちをつくりまします。

＜主な事業の令和3年度取組状況及び今後の展望等＞

【花き産地振興事業】花き需要低迷等の厳しい状況下における生産性の向上、販売促進活動等の支援を行った。市内小学校において、カーネーションを使った花育教室を実施した。花きの産地振興の方法として、生産性の向上および販売促進を行ってきたが、今後は花の消費者を増やすことも重要であるため、西尾産花きのPRや販路拡大を検討し消費拡大を図っていく。

【福地南部地域の活性化】バラ園の管理などを行っている憩の農園の円滑な運営を支援するため、憩の農園運営費補助金を交付した。

JA 西三河は、憩いの農園を核とする地域開発として、ファーマーズマーケットを令和4年3月に新規オープンし、また令和4年12月にはファーマーズガーデンのオープンも予定しており、地域活性化に期待する。

【スマートアグリシティ西尾構想の推進】JA 西三河きゅうり部会で取り組んだスマート農業の出荷予測をいちごにも横展開し、優位販売及びきゅうりといちごを連携させた物流の積載効率向上につなげた。

【西尾の魅力発信によるモノづくり企業の競争力強化事業】市内製造業を対象とした「ほんものづくり隊」についてR3.10月に8社を追加し、冊子・WEB等で情報発信をした。またR4.1月にオートモーティブワールド2022に市内製造業と共同出展し、「ほんものづくり隊」のPR及び出展企業の販路拡大を図った。

【商店街空き店舗活用事業】商店街の空き店舗活用を促すために賃貸料及び改修費を補助する制度を設けているが、これまでに制度利用実績がない。

令和4年度から出店者がより利用しやすいよう補助制度を改善するとともに、関係団体等と連携し、出店希望者と空き店舗とのマッチングやPR支援等、包括的なサポートを実施していく。

【創業支援事業】創業支援事業を始めとした支援策の中から適切なものを選択し、問題解決の支援を引き続き行う。

【高齢者能力活用推進事業】西尾市シルバー人材センターによる会員の増強のための説明会やシルバー人材センターの普及と就労確保のPRを支援した。今後も継続し高齢者の就業機会の確保に努める。

政策目標指標

各年3月31日時点

指標	基準値	目標値	実績値
	R1	R7	R3
製造業の従業者数（従業者4人以上の事業所） 【工業統計】	40,950人 (R1)	48,750人 (R7)	40,500人 (R2)

KPI（重要業績評価指標）

各年3月31日時点

指標	基準値	目標値	実績値
	R1	R7	R3
特産品による新商品開発数（累計）	11件 (R1)	16件 (R7)	13件 (R3)
東京での物産展における西尾市の認知度	42% (R1)	50% (R7)	42% (R1)
事業承継支援実績（累計）	15件 (R1)	27件 (R7)	31件
展示会出展数（累計）	50件 (R1)	65件 (R7)	52件 (R3)
販路拡大の商談数（累計）	70件 (R1)	90件 (R7)	81件 (R3)
創業支援事業に基づく創業者数（累計）	79人 (R1)	140人 (R7)	117人

3. 地方創生推進交付金実績一覧

事業名	事業概要	事業経費（円）	事業経費内訳（円）	指標	指標値	実績値 (4年3月末時点)	実施内容	事業評価	今後の方針
スポーツを核とした健康まちづくり事業	① にしお健康ツーリズム事業 ・スギ薬局と連携し、企業等における健康診査などにおいて、健康上のリスクのある人（特定保健指導の対象者及び対象にならないがリスクの高い人）を対象に、市内の温泉や抹茶等の食の資源を活用した健康プログラムを企画開発する。また、企画開発したプログラムを組み込んだモニターツアーを実施し、プログラムの検証と改善を図るとともに、観光事業者と連携して健康ツーリズム商品として販売の拡大を目指す。	1,361,204	補助金 1,361,204	健康ツーリズム参加者数	15人	28人	民間企業と連携し生活習慣病予防を目的として、市内の温泉旅館にて健康体操や健康料理の提供など健康指導を行うプログラムを開発し、モニターツアーを実施する。モニターツアーでは市内の観光資源を活かし、吉良温泉の効能の説明・入浴指導や健康に良い西尾の抹茶の一品などを併せて実施する。 ・健康ツーリズム開発補助 1,361,204円	民間企業であるスギ薬局と連携したツアーを計画したことにより、スギ薬局の持っている健康相談のノウハウや健康機器を活用することができた。また、吉良温泉と連携し、温泉特有の環境を活用することで入浴・食事や散策などから行動変容を促すプログラムを作成することができた。 モニターツアー参加者全員にアンケートを実施しており、プログラムの内容について概ねの方から生活習慣の改善の役に立った、健康相談が参考になったと評価を得ることができた。	モニターツアーを参考にアンケートの結果を反映させたツアーを造成する。 造成したツアーを健康経営に力を入れている企業へ営業をかけ、健康経営、福利厚生の一環としてツアーの斡旋を依頼する。 ツアーのプログラムに西尾らしさが足りない声が多くあるため、西尾らしさを取り入れたプログラムの造成を行う。

3. 地方創生推進交付金実績一覧

事業名	事業概要	事業経費(円)	事業経費内訳(円)	指標	指標値	実績値 (4年3月末時点)	実施内容	事業評価	今後の方針
スポーツを核とした健康まちづくり事業	<p>②フルマラソン大会等の開催による健康づくり事業</p> <p>・生活習慣病のリスクが低い方に対して、運動習慣を身に付けてもらい生活習慣病を予防できるよう、ポピュレーションアプローチの一環として、また、本市が健康づくりのまちとしてPRしていくためのシンボリックイベントとしてフルマラソン大会を開催する。大会は市内外からの一般参加が可能で、かつ、県内では現時点で本市のみの開催となる男女同時参加の公道を使用したフルマラソン大会として開催する。開催は、民間団体と連携した実行委員会を設立し進めるとともに、大会の開催に合わせて、地元商工業団体と連携し、県内外から訪れる大会参加者に西尾市の地場産品等のPRを行い、市内消費の増加を図る。</p>	40,000,000	実行委員会補助金 40,000,000	<p>市民マラソン参加者数</p> <p>市外からのマラソン参加者数</p>	1,000人	489人	<p>3月6日(日)にしおマラソン2022を開催。西尾市文化会館をメイン会場とし、野口みずきさん、エリックワイナイナさん、糟谷悟さんをゲストランナーに迎えた。実施種目は、フルマラソンの部、2kmの部の2部門に加えて、好きな場所を10日間で42.195km走行する、オンラインマラソンを2月24日(木)から開催。</p> <p>スポーツと観光振興を合わせた地域活性化を図ることを目的としにしおマラソン2022西尾市PR事業を市内の各団体の協力のもと行った。(プレミアムエントリー、一色産うなぎ串の提供、三河一色えびせんべいの提供等)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、フルマラソンの参加者数を制限(8,000人から4,000人)したため、KPIを達成できなかった。しかし、市民先行枠、一般枠ともに数日間で募集定員に達するほど好評であり、制限を行わなければ、実績値はもっと伸びていたことが想定される。</p> <p>また、にしおマラソン2022西尾市PR事業については、当初予定していた、割引券の発行は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、実施できなかったが、メイン会場やコース場などで、割引券に代わる様々な取り組みを市内の各団体の協力のもと行うことができた。その結果、県内外から訪れた多くの大会参加者に対し、西尾市の魅力をPRすることができた。</p> <p>反省点として、市民に対する交通規制案内や迂回路の設定、必要備品の不足や人員不足などが大会主催者側に寄せられた主な意見であり、今後の課題である。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策を実施するとともに、にしおマラソンの目的である、スポーツと観光振興を合わせた地域活性化を図っていく。そのため、より多くの人が大会に参加し、より多くの人に西尾市の魅力をPRできるよう、国や県などのガイドラインを遵守しつつ、開催方法や西尾市の魅力の発信方法など検討していきたい。</p> <p>また、市民への周知も含め、大会反省点を一つでも多く解消し、より満足いただける大会となるよう周知方法やコースの改善を行っていく。</p>

3. 地方創生推進交付金実績一覧

事業名	事業概要	事業経費（円）	事業経費内訳（円）	指標	指標値	実績値 (3年3月末時点)	実施内容	事業評価	今後の方針
西尾の魅力発信によるモノづくり企業の競争力強化事業	製造業の販路拡大のための展示会への共同出展及び展示会出展への補助。製造業の人材確保のための学生へのPR。	7,713,800	展示会共同出展運営管理業務委託費 5,200,000 展示会出展補助費 1,405,000 「ローカルではたらこう」運営業務委託費 0 「ローカル就活ガイド」印刷費 1,108,800	人材マッチング件数 販路拡大の商談数 企業立地件数	10 20 4	0 11 13	<ul style="list-style-type: none"> ・東京で開催された大型展示会に市内企業と共同出展を行った。 ・事業者が展示会に出展した際の費用の一部を補助した。 ・市内の製造業の魅力をダイレクトに伝える就職ガイドブックを作成し、成人式や高校へ配布し、同内容をWEB媒体に掲載した。 ・高校でのパネルディスカッションについては、コロナにより中止とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同出展事業は、コロナの影響により、出展企業が2社に減少した全体の来場者数は、コロナ前から半減したが、ブースへの立ち寄り数を増加させたことで、参加企業から高評価を得た。 ・展示会補助事業については、契約成立だけでなく、トレンドの把握、従業員の育成の効果があつたと参加企業から高評価を得た。 ・就職ガイドブックについては、高校の先生からも企業からも評価が高く、継続を強く希望され、効果の高い事業となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の声を聴きながら、出展する展示会を検討し、ブース立ち寄り数を増加させるような工夫を引き続き実施する。 ・展示会補助事業については、周知の強化や、出展のアドバイスを行い、初めて展示会出展する企業の増加を図る。 ・就活ガイドブックについては、引き続き学生のニーズに沿った内容で作成する。

第 2 期西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂

(1) 文章（語句）の見直しを行うもの

(区分：旧は原案、新は修正案、追は追加、削は削除)

基本 目標	方向	施策	区分	修正内容	該 当 ページ
1	1	1 他 地 域 と の 交 流 促 進	旧	<p>【主な取組】にしお駅伝フェスティバル (スポーツ振興課)</p> <p>小・中・高・一般・シニアの部門別に駅伝を開催し、スポーツを通じて仲間への信頼を育むとともに多様な交流を図る。また、チームスポーツ特有の達成感と仲間との信頼や交流などのメリットを多くの市民と共有するためホームページや SNS 等を活用して積極的にアピールする。また、コロナ禍における開催について参加者の理解を得る</p>	8
			新	<p>【主な取組】にしお駅伝フェスティバル (スポーツ振興課)</p> <p>小・中・高・一般・シニアの部門別に駅伝を開催し、スポーツを通じて仲間への信頼を育むとともに多様な交流を図る。また、チームスポーツ特有の達成感と仲間との信頼や交流などのメリットを多くの市民と共有するためホームページや SNS 等を活用して積極的にアピールする。</p> <p>[内容の見直し]</p>	
			旧	<p>【主な取組】 (観光文化振興課)</p>	
			追	<p>【主な取組】e スポーツ事業 (観光文化振興課)</p> <p>e スポーツを活用し、スポーツツーリズムのより一層の推進、関係人口の拡大及び多文化共生等の推進を図る。</p> <p>[新規事業]</p>	

基本目標	方向	施策	区分	修正内容	該当ページ
1	1	2 拠点・機能の充実 地域資源を活かした観光	旧	【主な取組】離島 de ワークーション (佐久島振興課) With コロナを見据え、島内の観光事業者と連携し、 <u>佐久島の弁天サロン</u> を活用したワークーションプランを実施する	9
			新	【主な取組】離島 de ワークーション (佐久島振興課) With コロナを見据え、島内の観光事業者と連携し、 <u>島内施設</u> を活用したワークーションプランを実施する 〔事業の進捗により取組施設の充実を図る〕	
		3 関係人口の創出	旧	【主な取組】竜の子街道プロジェクト (観光文化振興課) <u>西尾市・常滑市・半田市・碧南市で構成する竜の子街道において、エリアの強みである「醸造」や「和文文化」を活かした観光資源を創出し誘客と地域活性化を図る</u>	10
			削	【主な取組】竜の子街道プロジェクト (観光文化振興課) 削除 〔組織の解散に伴う事業終了〕	
			旧	【主な取組】ふるさと応援寄附金制度 (企画政策課) <u>新たな返礼品の開拓や、ポータルサイトの充実により、寄附金額の増額を図る。また、企業版ふるさと納税の受入れ体制を整備して、新たな縁を通じた官民連携の構築も視野に入れた事業展開に取り組む</u>	
			新	【主な取組】ふるさと応援寄附金制度 (秘書政策課) <u>新たな返礼品の開拓、ポータルサイトの充実、メルマガ配信等の新たな取組により、寄附金額の増額を図る。また、企業版ふるさと納税の受入れ体制を整備して、新たな縁を通じた官民連携の構築も視野に入れた事業展開に取り組む</u> 〔取り組みの状況及等により内容を変更〕	

基本 目標	方向	施策	区分	修正内容	該 当 ページ
1	1	3 関係人口の創出	旧	<p>【主な取組】シティプロモーション事業 (秘書広報広聴課)</p> <p>幅広く地域資源を活用して、都市イメージを高めるための新たなブランディング戦略を図るとともに、市民自らが魅力を発信できる土壌を構築し、地域内外からの共感の獲得と市の魅力を可視化することで、さらなるシビックプライドの醸成を<u>図っていく</u></p>	10
			新	<p>【主な取組】シティプロモーション事業 (広報広聴課)</p> <p>幅広く地域資源を活用して、都市イメージを高めるための新たなブランディング戦略を図るとともに、市民自らが魅力を発信できる土壌を構築し、地域内外からの共感の獲得と市の魅力を可視化することで、さらなるシビックプライドの醸成を<u>図る</u></p> <p>[文言修正]</p>	

基本 目標	方向	施策	区分	修正内容	該 当 ページ
1	2	2 安全 ・ 安心で 楽しめる 地域の 形成	旧	<p>【主な取組】 公共施設再配置事業 (資産経営課) 西尾市公共施設再配置基本計画に基づき、施設の再配置を推進する</p>	12
			新	<p>【主な取組】 公共施設再配置事業 (資産経営課) 西尾市公共施設等総合管理計画に基づき、施設の再配置を推進する 〔事業の進捗に伴う根拠の修正〕</p>	
			旧	<p>【主な取組】 消防団活動事業 (消防総務課) 地域に密着した活動が期待される消防団は重要な組織であり、団員の確保に努めていく。また、就業構造の変化等により減少傾向にある団員個々の災害対応能力を高めるため、様々な災害に対応した各種訓練を実施することで、地域防災力の向上を図る</p>	
			新	<p>【主な取組】 消防団活動事業 (消防総務課) 地域に密着した活動が期待される消防団は重要な組織であり、団員の確保のため、消防団の魅力創出や団員の処遇改善を図る。また、就業構造の変化等により減少傾向にある団員個々の災害対応能力を高めるため、様々な災害に対応した各種訓練を実施することや、<u>装備品及び資機材等を充実させること</u>で、地域防災力の向上を図る 〔具体的な内容への変更〕</p>	
			旧	<p>【主な取組】 (情報政策課)</p>	
			追	<p>【主な取組】 危険箇所の LINE 通報機能追加事業 (情報政策課) 道路損傷、公園遊具の損壊、河川護岸の崩壊など危険箇所の通報を、西尾市 LINE 公式アカウントから画像や位置情報の送信により受付ができるように機能を追加する。 〔新規事業〕</p>	

基本目標	方向	施策	区分	修正内容	該当ページ
1	2	2 安全 ・ 安心で楽しめる地域の形成	旧	【主な取組】 (河川港湾課)	12
			追	【主な取組】 河川防災情報整備事業 (河川港湾課) 市管理河川の流域において、浸水発生頻度の高い地点に危機管理型水位計や河川監視カメラ等を設置し、リアルタイムの河川の水位や浸水情報を配信する。 〔新規事業〕	
		4 簡単 ・ 便利なオンラインサービスの充実	旧	【主な取組】 (情報政策課)	13
			追	【主な取組】 書かない窓口システム導入事業 (情報政策課) マイナンバーカードを活用した窓口業務の効率化を支援する「書かない窓口サービス」を導入する。申請書記入の手間の削減やマイナンバーカードを利用した本人確認により、窓口での手続きの手間の省力化を図る。 〔新規事業〕	

基本目標	方向	施策	区分	修正内容	該当ページ
2	1	1 結婚、妊娠・出産の支援	旧	【主な取組】結婚支援事業 (企画政策課)	16
			新	【主な取組】結婚支援事業 (秘書政策課) 〔機構改革による課名の修正〕	
			旧	【主な取組】結婚新生活支援事業 (企画政策課) 結婚に伴う新生活の経済的負担を軽減するため、市内で新生活を始める夫婦に支援を行う	
			新	【主な取組】結婚新生活支援事業 (秘書政策課) 結婚に伴う新生活の経済的負担を軽減するため、市内で新生活を始める夫婦(パートナーシップ宣誓を含む)に支援を行う 〔対象要件の見直し等に伴う内容の更新〕	
2	2	2 保育環境の充実	旧	【主な取組】放課後児童クラブ運営・充実 (子育て支援課) 保護者が勤務等により昼間家庭にいない児童に、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図る <u>令和3年度夏季休業の開所時間を早め、保護者の就労支援を拡充する</u>	19
			新	【主な取組】放課後児童クラブ運営・充実 (子育て支援課) 保護者が勤務等により昼間家庭にいない児童に、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図る 〔事業の進捗により内容を変更〕	

基本目標	方向	施策	区分	修正内容	該当ページ
2	3	1 きめ細かな教育の推進	旧	【主な取組】特別支援教育 (学校教育課) 特別な支援を必要とする児童生徒に対して、 <u>関係協力機関や令和4年開校予定の特別支援学校と連携し、個々の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を進める</u>	20
			新	【主な取組】特別支援教育 (学校教育課) 特別な支援を必要とする児童生徒に対して、 <u>教育と家庭、地域、福祉や保健などの業務を行う関係機関が連携し、個々の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を進める</u> 〔事業の進捗により内容を変更〕	
			旧	【主な取組】学校と家庭をつなぐ連絡システムの導入 (教育庶務課) 学校からのお知らせを保護者のスマートフォン等にメール配信。 <u>アンケート機能や、多言語翻訳機能も備える</u>	
			新	【主な取組】学校と家庭をつなぐ連絡システムの導入 (教育庶務課) 学校からのお知らせや不審者情報などを保護者のスマートフォン等に配信。 <u>欠席・遅刻連絡機能やアンケート機能、多言語翻訳機能も備える</u> 〔事業の進捗により内容を変更〕	
		3 リカレント学習の場の形成	旧	【主な取組】 <u>生涯学習拠点施設整備事業</u> (生涯学習課) <u>生涯学習活動拠点が不足する地区において、地域住民の生涯学習活動、多世代交流、地域文化推進のため、拠点施設を整備する</u>	22
			新	【主な取組】 <u>生涯学習センター（仮称）建設事業</u> (生涯学習課) <u>中央ふれあいセンターとアクティにしおの機能を統合した、全世代に対する多様な学びの場として生涯学習センター（仮称）を建設する</u> 〔事業の進捗により内容を変更〕	

基本目標	方向	施策	区分	修正内容	該当ページ
3	1	2 企業・事業所の誘致・継続支援	旧	<p>【施策の内容】</p> <p>②地域経済を支える市内企業に対して、<u>事業承継のための企業マッチングをはじめ、見本市や展示会への出展支援等事業を継続していくための取組を官民連携で行います。</u></p>	26
			新	<p>【施策の内容】</p> <p>②地域経済を支える市内企業に対して、<u>販路拡大、事業承継、人材育成、生産性向上、展示会出展支援等、事業を継続していくための取組を官民連携で行います。</u></p> <p>〔文言の修正〕</p>	
		3 商業の振興	旧	<p>【主な取組】</p> <p>(商工振興課)</p> <p>空き店舗を活用しやすいよう、賃貸料及び改修費の補助を行う</p>	27
			新	<p>【主な取組】</p> <p>(商工振興課)</p> <p>空き店舗を活用しやすいよう、賃貸料及び改修費の補助を行う。<u>関係団体と連携し、空き店舗と利用希望者のマッチングや包括的支援を行い、空き店舗活用につなげる。</u></p> <p>〔事業の進捗により内容を変更〕</p>	
旧	<p>【主な取組】</p> <p>(商工振興課)</p>				
追	<p>【主な取組】 中心市街地活性化事業</p> <p>(商工振興課)</p> <p>市民や商業者と連携し、商店街エリアを中心とした中心市街地の中長期を見据えたビジョンを作成し、まちなかに賑わいを取り戻すための事業を推進する。</p> <p>〔新規事業〕</p>				